

赤城山雪山山行報告



【山行日】2019年 2月 3日(日) 快晴

【集 合】岩舟支所 P AM 6:00

【費 用】マイカー1台 : 1,300円

【メンバー】CL: 鈴木ユ 大西、鶴見、松舘、吉田、
渡辺

【コースタイム】岩舟支所 P6:00 = おのこ
P8:00/8:20 ~ 黒檜山登山口 8:35/8:50 ~ 黒檜山
10:00/10:30 ~ 駒ヶ岳 11:10/11:50 ~ 覚満淵
12:30/12:40 ~ おのこ P13:05/13:15 = あいのやま
の湯 14:00/14:15 = 岩舟支所 P15:40

中級雪山トレーニング山行として、黒檜山雪山山行を計画した。岩舟支所から国道50号線を走り、みどり市から県道69号線、3号線を走り、赤城大鳥居から県道4号線を北上しおのこ駐車場に着く。道路にはほとんど雪が無く、今年の冬は雪が少なかったことを実感する。好天に恵まれ、駐車場には登山者やワカサギ釣りの方達の車が沢山止められていた。準備を整えトイレを済ませ、ストレッチを行って出発する。登山口まで道路を歩くが、所々凍っているので滑らないよう慎重に歩く。大沼の氷上にはワカサギ釣りのテントが並び、大勢の方で賑わっていた。朱色の赤城神社を左に見て歩き、神社を過ぎた少し先に黒檜山登山口がある。ここから登山道に入るが、いきなり急登になるのでここでアイゼンを付ける。登山道は大勢の登山者で踏み固められ、アイゼンが良く効いて歩き易い。一がんばりで尾根上に出て、景色が開けた所で休憩し衣服調整をする。眼下には大沼が見渡せ、その先には地藏岳が大きく聳えている。ここからは岩尾根を登るようになり、岩を手掛かりに登るような所も出てくる。右側が開けた場所まで登ると、地藏岳の左に富士山が見えるようになる。



この先からさらに急な登りとなり、頑張って登ると傾斜が緩くなり黒檜山と駒ヶ岳を結ぶ稜線に出る。ここは分岐になっており、緩やかな尾根を左に進むと黒檜山山頂に着く。山頂で記念写真を撮ったら、北に2~3分歩くと展望所に出る。ここからは上信越の山々の大パノラマが広がり、尾瀬の燧ヶ岳から上州武尊山、谷川連峰や苗場山、浅間山までの絶景が展望できる。今まで何度も見てきたが、今日は最高の天気に恵まれ一番の展望が得られた気がした。

大勢の登山者が眺望を楽しんでおり、我々も眺望を楽しみながらよもぎ大福を食べ、記念写真を撮



ったら山頂まで戻る。皆さんも感動し「来て良かった！」と喜んでいた。山頂から駒ヶ岳に向かうが、黒檜山南峰から大ダルミまでは急な下りが続き滑らないよう慎重に下る。大ダルミから緩やかに登り返し、駒ヶ岳山頂に着く。ここでランチタイムとし、お湯を沸かしてそれぞれ持ってきたカップ麺にお湯を注ぎいただく。徳ちゃんが持って来た、しもつかれや沢庵と一緒にいただきとても美味しかった。駒ヶ岳からの稜線は雪庇が張り

出し、雪山の気分が盛り上がる場所だ。

雪山の気分を満喫しながら歩き、夏道の下降地点に出るがそのまま直進して鳥居峠に向かう。雪山の時季のみ下れるルートで、トレースがあるので利用させてもらう。道なき道で歩きにくい

が、慎重に下ればそれほど難しくは無い。途中からトレースが覚満淵に向かって降りており、我々もトレースを追って下って行く。覚満淵の木道ベンチに出て、ここで休憩してアイゼンを外した。覚満淵を縦断すると県道に出て、右に少し歩くとおのこ駐車場に着いた。靴を履き替えトイレを済ませたら帰路につく。途中、あいのやまの湯の直売所に寄り、野菜やお花のお土産をゲットし、予定よりも早く岩舟支所に帰着出来た。

